

平成27年度 第1回 玉城町総合教育会議 議事録

開催日時	平成27年4月28日(火) 9:30~11:00
開催場所	玉城町役場3階 第1委員会室
出席者	辻村町長 教育委員：上村委員長、中山委員、小林委員、前川委員、山口教育長 オブザーバー：中西教育員会事務局長兼教育総務課長、藤川生涯教育課長 事務局：林総合戦略課長、中川同係長、永井同主事
傍聴者	2名
【議事概要】	
事務局	林課長司会
町長	町長挨拶
教育委員長	教育委員長挨拶
	【議題】
事務局	1. 総合教育会議の設置・運営について説明
委員	2. 玉城町の教育を取り巻く諸課題について 玉城町は半径6kmのコンパクトシティ、文化・歴史について把握しやすい。日頃から町長は教育委員会に足を運んでくれている。予算も手厚くしてもらっている。来年10月までは教育長の任期があるため現体制で、今までどおり取り組んでいく。
	○資料3 教育方針について説明
	・学力向上協議会 5年生の全国学力調査の低位を受け設置した。結果、学力調査全国トップクラスの成績を収めた。活用力の向上に努力している。昨年度から第3土曜日に土曜学習を始めた。ゆとりをもって勉強させるために始めた。県下初の試みで、今年度は三重県全市町で土曜事業を開始した。8割の保護者が土曜授業に賛成している。
	・グローバル人材の育成 レゴによる英語コミュニケーション力向上事業を取り入れた。県内では、玉城、鈴鹿、津が導入。発音を大切にしながら、田舎の子供たちでも英語がしゃべれるように新しくALTも1名追加した。子供達はとても楽しそうに授業に取り組んでいる。今までは3年生から行っていたが、今年度は4小学校すべてで1年生から英語教育を始めている。
	・たまきっこ学びの十か条・・・自ら立体的に学ぶ 学校・家庭へも掲示している
	・情報機器も使える子供達を目指し、昨年度から先生たちに研修を進めている。
	・体力、スポーツの推進を図る。
	・NIE (Newspaper In Education)

	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重、いじめ防止基本方針「玉城町人権教育ネットワーク研究会」の設立 →月1回の話し合い実施 ・特別支援 →パーソナルカルテ（育ちの歴史を作成） 就学前から一貫した支援 ・郷土愛の醸成：H26にふるさとカルタ作成 ・防災教育 →校区别防災危険箇所地図，夏休みに親子で通学路チェック ・先生を対象に8つの講座で研修を行っていく ・人権尊重の社会を築く・・・いじめ防止基本方針 →町人権ネットワーク研究会で <p>以上で教育方針の説明は終わります。</p> <p>○生涯学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座は1,000人を超す。講座終了後サークル活動へ発展。 ・町民創作展についても500人を超している。 →他市町から評価。郡内4町連携講座も推進 ・青少年を育てる会…子育て支援室が連携している。 ・総合型地域スポーツクラブ…4年目を迎え100人会員が増えた。今後中央公民館の指定管理者制度、体育館の建設も考えていかなければならない。 <p>○文化財について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の皆さんが歴史に触れてもらえるよう玄甲舎、奥書院、田丸城跡の維持保存と利活用を進めていく。 ・オブラートの小林家は現在協議に入っている。 <p>○子育てについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちゃれたまやNP（ノーバディーズパーフェクト）など子供を育てる健全な土台を作っていく。 ・家庭の教育力を上げていく。
事務局	林課長資料説明
委員	<p>【意見交換】</p> <p>玉城町は定例教育委員会に各学校長を加えて行っている（全国でも珍しい）。気付いた点等あれば教育委員さんも意見を述べて欲しい。</p>
町長	<p>玉城町としては教育基本方針、総合計画で方針が示されているので、あらためて大綱を定める必要はないと、Q&Aでも示されている。同じような物はいくつもない。</p>

	<p>町内インフラ・ハード面の整備（耐震も含め）は終わっている。これを継続していく。人口減少の少ないまちであるが、昔のような農作業がなくなり、つながりが希薄化してきている。総合計画も含め何かアクションを起こしていく。絵に描いた餅ではいけない。</p> <p>玉城はコンパクトシティであり効果出やすい。機動力をもって取り組みたい。</p> <p>自治体間競争の時代であり、教育・子育ての充実、若者がいかに住みよいまちにするかが大切。</p> <p>母親が元気でないと子供も元気でない。</p> <p>玉城はアピールが下手と言われる、地域の皆さんにもっと周知が必要。</p>
委員	<p>母親として子供達の将来を考えると、9年間教育、コンパクトシティの中で玉城町の子供が優秀に育ち、町内企業で働くようなまちづくりを。たとえば TOEIC や英語教育など。英語を活かして何ができるかが重要。就職を見据えた教育を。</p> <p>パーソナルカルテを活用して継続的に段階的な指導が必要。</p>
町長	<p>少子高齢化の進展が著しい。企業もよい人材は欲しいのは当然であり、企業の求める人材を養成が必要。玉城は昼間人口4,000人となっているが、うち町民は10%程度である。従業員の定住率が高い。子育てが充実しているからか。1次産業を大切にしていきたい。町外からの田植え受託者が多くなってきた。古き良き農業・・・</p> <p>「地域に生まれて育った人が、地域に残ってもらう事」が大切。</p>
委員	<p>地元の側溝掃除は高齢者ばかり。役員も高齢者がほとんど。元気なことは良いこと。さまざまな手段で町外の人を取り入れてほしい。</p>
町長	<p>若い人が戻ってこられるようなまちづくりをしていきたい。</p>
委員	<p>玉城は交通アクセスや環境の良いまちであり、もっと上手くアナウンスすれば、作家やものづくりを志す方が定住してくれるかも。</p>
町長	<p>外部からの評価を大切にしたい。中ではわからない気づきがある。</p>
委員	<p>高齢の方と学童の子供と一緒に遊べるような機会を作って欲しい。昔の遊びや人間教育の提供が可能ではないか。みんなが元気に。</p>
オブザーバー	<p>すでに高齢者と子供が交流できるような取組をいくつか行っている。</p>
町長	<p>囲碁・将棋をする子供が増えている。特に有田。おもちゃの修理屋さんもできた。</p>
委員	<p>子供達の防犯について、犯罪にいくまでに止めなければならない。警察と連携して。</p>

委員	<p>玉城の子供（たまきっ子）は保育所から中学校まで挨拶をしてくれるという声を聞く。学力も大切だが、人間性も大切である。子供たちが気楽に話してくれる。コミュニケーション力。</p>
町長	<p>神戸の北須磨では団地の人が地域づくりを始めた。皆で力を合せれば。</p>
委員	<p>PTAの役員は1年で終わる。高校は3年、2年任期である。小学校中学校もそうできないか。親同士も繋がりができるのでよい。</p>
町長	<p>PTAの話し合いの時に言ってみる。PTA会員の交流が大切。そういう人達がまちづくりに携わってくれる。</p>
委員	<p>今後教育委員会として、コミュニティにどのようにして大人が入れる仕組みを作るか。</p>
	<p>11:00閉会</p>

【会議風景】

